

専門課程シラバス

授業科目	基礎看護学技術 I 看護過程		担当者	西村 容子		実務経験	○(専任教員)
開講時期	1 学年後期	授業の方法	講義・GW	単位数	1	時間数	30
授業概要	看護実践に必要な看護過程の基本的事項や、構成要素について学ぶ。看護過程の意義や目的を理解し、健康障害を持つ対象の紙上事例を通して、アセスメント・診断・計画・実施・評価の展開方法について学ぶ。						
授業計画	<p>1・2 看護過程とは ゴードンの枠組み</p> <p>3・4 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える 健康知覚－健康管理パターン・栄養－代謝パターン・排泄パターン</p> <p>5・6 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える 活動－運動パターン・睡眠休息パターン・認知－知覚パターン</p> <p>7・8 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える 自己知覚－自己概念パターン・役割－関係パターン・セクシュアリティ－生殖パターン</p> <p>9.10 アセスメント①アセスメントの枠組みから対象の全体像を捉える コーピング－ストレス耐性パターン・価値－信念パターン</p> <p>11・12 アセスメント②(情報の収集と分析)</p> <p>13・14 紙上事例 対象の状況をアセスメント(個人及びグループワーク)</p> <p>15・16看護診断の種類と問題の明確化</p> <p>17・18 看護計画立案</p> <p>19・20 紙上事例 対象の状況の看護診断(個人及びグループワーク)</p> <p>21・22 紙上事例 対象の状況の看護診断から看護計画を立案する(個人及びグループワーク)</p> <p>23・24 グループ発表 看護診断、看護計画</p> <p>25・26 グループ発表 看護診断、看護計画</p> <p>27.28. 看護計画の実施と評価</p> <p>29.30. 看護記録</p> <p>終講試験</p>						
テキスト 参考文献	系統看護学講座 基礎看護学2 基礎看護技術 I 第18版 第3刷 医学書院 2024 看護診断ハンドブック 第11版 医学書院						
成績評価 の方法	筆記試験(80%)、レポート課題(20%)、授業中の参加姿勢等で総合的に評価する。						